



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和5年度4月号
令和5年4月10日(月)
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

その受け止めが心に火を付けてくれました

校長 三杉 紀文

暖かな日差しが草木に降り注ぎ、春そのものが微笑んでいるようです。令和5年度がスタートしました。

学校の年度替わりは、人の入れ替わりから始まります。昨年度の3年生が3月に卒業し4月から初々しい新生が入学してきました。教職員も人事異動により、入れ替わり等がありました。生徒にも教職員にもこの4月から初めて本校での生活を始める人たちがいます。「初めて」は本人にも周囲にも、不安があるかもしれませんが、私にはそんな時に思い出す出来事があります。

私が初めて教員になって初めて学級担任をもった時の、初めての家庭訪問の時のことです。初めて学級担任になったことは、嬉しく、また同時に緊張と不安も多分にありました。おそらくご家庭の方でも、経験の少ない、いかにも頼りなさそうな教員が学級担任で大丈夫なのだろうかとさぞかし不安に思われていることだろうな、などと思いながら、家庭訪問におかいました。

ある家庭を訪問させていただいた時のことです。私が「初めての担任ですので、いろいろ行き届かない点もあるかとは思いますが、学年・学校の職員と連携して精一杯頑張るつもりです…」と切り出しかけたところ、保護者の方から思いもかけなかった言葉をいただきました。「そうそう、初めての学級担任だそうですね。だから、子どもにも言ったのですよ。あなたは、とつてもついているわね。担任を初めてやる先生なら、きっと初めてだからと何事にも丁寧に一生懸命取り組んでくれることでしょう。そんな担任初めての先生にあたるなんて、めったにないことなのだから、あなたはとつてもついているのよ。」

初めての担任…不安要素の指摘こそされて仕方ないと思っていましたが、まさかこんな肯定的な考え方があるとは私自身も気が付かず、しかもそれを子どもにも伝えていただいていたというのは大変な驚きでした。仮に気休めの言葉であったとしても、私にとってはまさに感動でした。体の奥から勇気が凛々とわいてくるのでした。

それ以来、20年連続で学級担任を務めましたが、何か成果を上げられたとすれば、あの時のように周りの方々からの温かいご支援のおかげであると今は確信しています。初めての新鮮な力を生かせるかどうかは、周囲の受け止めの影響もとても大きいことを知りました。

最終的に子どもたちの成長につながることを常に共通目標としながら、学校、家庭、地域が連携していくことこそが、最も教育効果を高めることができます。教職員も全力で努めますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。